

- 今日は、「ありがとう」についてお話しします。
- 1学期の間、みなさんはたくさんの「ありがとう」を言ったと思います。
- たとえば、友だちが消しゴムを拾ってくれた時、学用品を貸してくれた時など、感謝の気持ちを込めて「ありがとう」と言ったことでしょう。
- さて、ここで問題です。
- 声に出さないで頭の中で考えてください。
- 例えば、「大きい」の反対は「小さい」、「暑い」の反対は「寒い」ですね。
- では、「ありがとう」の反対は何でしょう？
- 「ありがとう」の反対は、「当たり前」という言葉です。
- お友達が親切にしてくれた時、それが「当たり前」と思ったら、「ありがとう」の言葉はでてきませんね。
  
- さて、家でのことを考えてみましょう。
- 皆さんの家の人々が、毎日、ご飯をつくってくれます、洗濯をしてくれます、お掃除をしてくれます。
- これって当たり前のことですか？
- 当たり前のことではないですね。
- では、みなさんは、お家の人に「ありがとう」を言っていますか。
- なかなか言えないですね。

- ここで、校長先生から二つのお願いです。
- 一つ目、お家に帰ったら、「ありがとう」を言ってください。
- いつも、おいしいご飯をありがとう、洗濯してくれてありがとう、何でもいいです。
- 二つ目は、夏休み中、お手伝いをしてください。
- お風呂掃除、洗濯物の取り込み、雨戸締め、何でもいいです。
- 毎日続けることで、感謝を伝えましょう。
  
- 今日は、「ありがとう」についてのお話でした。
- 「ありがとう」の反対の言葉は、「当たり前」です。
- 「当たり前」と思うと、「ありがとう」の言葉はでてきません。
- 感謝の気持ちで「ありがとう」を言えるようにしましょう。